

## 6 人床総室のカーテン使用に関する意識調査

—入院患者 50 名、看護婦 23 名にアンケート調査を実施して—

南 2 階病棟

○知地理 和 美 森 長 和 美

相 谷 麻紀子 高 宮 久美子

増 田 加奈子

### 1. はじめに

当病院南二階病棟（以下当病棟と略す）では、大部屋の間仕切りにカーテンを使用している。当病棟では、この間仕切りカーテン（以下カーテンと略す）が閉まっていることが多く、実際の看護の場面において病室が暗いと感じたことがある。また、患者から「陰気くさい」という意見を聞くこともあった。そこで私達は、今後のカーテンの使用方法を検討するために、患者、看護婦がどんなときにカーテンを使用しているか、どのような思いでカーテンを使用しているかを意識調査した。

### 2. 研究期間

平成 13 年 7 月 1 日～31 日

### 3. 対象

同期間中に当病棟の 6 人部屋に入院していた 10 代から 80 代の男女 50 名。平均入院回数は 2.5 回であった。内訳は図 1、2 参照。

### 4. 研究方法

入院中に看護婦が説明用紙を使用して研究の主旨を説明し、同意を得られた患者に対してカーテンの使用状況、その理由に関するアンケート用紙を配布した。アンケートは無記名とし、病棟内に回収箱を設けた。回収率は 89.3%であった（図 3）。

また同時に、当病棟に勤務している 20 代から 40 代の看護婦 23 名に対して、アンケート調査を行った。方法は患者と同様とし、回収率は 100%であった（図 4）。データの評価は T 検定で行った。

### 5. 結果および考察

患者に「いつもカーテンを閉めておきたいと思うか」と聞いたところ、予想とは反し、「はい」と答えた人は 2 名（4%）で、45 名（90%）が「いいえ」と答えた。

また、「なぜカーテンを閉めているか」の答えを患者と看護婦で比較してみると、両者共に「人に見られたくないから」と答えた人が1番多かった。しかし、看護婦が「隣の人と距離を置きたいから」「1人になりたいから」という精神的な面が大きいと考えているのに対して、患者は「体調が悪いから」という身体的な理由を多く挙げていた。これは、患者は闘病生活を送る中で寂しさや孤独感が生じ、他者との関わりを求めているためではないかと考えられる(図5)。逆に、「カーテンを開けているとなぜよいか」では、両者共に「明るいから」「隣の人と話ができるから」と答えた人が多く、また看護婦では、約8割の人が「安全確認ができるから」と答えていた(図6)。

浪下らの研究を基にして挙げた12の場面において、患者は、睡眠、安静、診察・処置、排泄、清拭、更衣の場面でカーテンを閉めたいと答えた人が多かった(図7)。

看護婦では、医療者との会話、睡眠、安静、診察、排泄、清拭、更衣の場面で閉めたほうがよいと答えた人が多かった(図8)。

患者と看護婦の意識を比較してみると、医療者との会話の場面で有意差を認めた。これは、現代社会、そして看護教育において、プライバシーが重要視されているためだと考えられる(図9)。

また、「隣の人と距離をおきたいから」と答えた人のベッドの位置はB、Fベッドであった。川口は対人距離より、基本となるベッド間隔は約1.5mだと述べている。当病棟におけるベッド間の距離は0.5mから1.5mで、平均1mであった。このことから、病棟の構造上ベッド間の距離が近くなってしまうため、対人距離をとるためにカーテンが必要だとも考えられる。

実際の看護の場面でのカーテンの使用状況を調べてみると、患者が閉めたいと思っているときにはカーテンは使用されており、患者のニーズにはほぼ沿えていると言える(図10)。同室者との会話は、26名(52%)が「よくある」、17名(34%)が「時々ある」、3名(6%)が「あまりない」と答え、あまりないと答えた人のうち2名は、日中カーテンを開けていると答えた。「普段カーテンは開けておくべきか」と看護婦に聞いてみると、20人(87%)が「はい」2人(9%)が「いいえ」と答えた。そして、患者の希望するカーテンの状態では、「横は閉めて足元は開ける」という答えが1番多かった(図11)。

また、男女比、年齢、入院回数に偏りがあったため、それらによる比較はできなかった。

## 6. まとめ

- 1) 患者は更衣、清拭、排泄、診察・処置に加え、夜間睡眠時や、体調の悪い時にカーテンを閉めたいと思っていた。
- 2) 12の生活場面におけるカーテンの開閉は患者のニーズにほぼ沿っていた。
- 3) 普段カーテンをすべて閉めておきたいと思っている人はいないが、開けておきたい程度には個人差があり、横は閉め、足元は開けておきたいと思っている患者が多かった。

## 7. おわりに

川口は、「入院患者たちは、入院前までの生活とは異なり多少の不自由があっても、入院生活では仕方がないと、何も言わずにあきらめているようである」<sup>1)</sup>と述べている。

看護婦は、患者がカーテンを使用したいときには個人差があることを念頭に置き、その人のニーズにあわせてカーテンを使用し、快適な入院生活を送れるよう努めていくべきだと言える。

今回は対象数が少なかったため、傾向や今後の使用方法を導き出すには至らなかったもので、今後も継続して検討していきたい。

### <引用文献>

- 1) 川口孝泰；医療を受ける患者の心理，看護教育，Vol.38，No.2，154－157，1997

### <参考文献>

- 1) 浪下和子他：4人床総室入院患者のカーテン使用の平等性に関する調査研究，大阪大学看護学雑誌，Vol.3，No.1，26－36，1997
- 2) 浪下和子他：4人床室のカーテン使用に対する患者と看護婦の認識の差に関する調査研究，日本看護学会収録 看護管理，Vol.28，73－75，1997
- 3) 川口孝泰：対人距離とベッド間隔，看護教育，Vol.36，No.13，1194－1198，1195
- 4) 玉置雅代：多床室における間仕切りカーテンの意義，日本看護学会収録 看護総合 Vol.27，94－96，1196

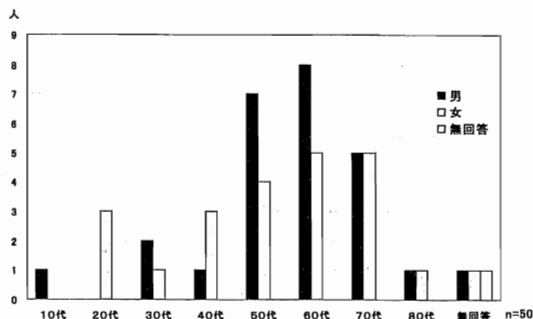


図1. 年齢・性別

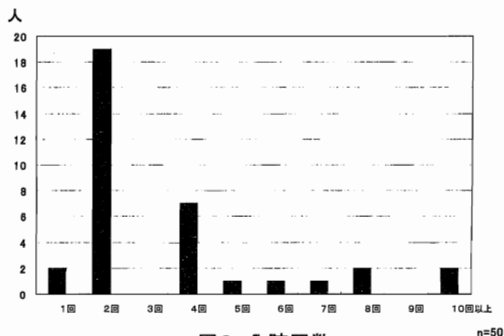


図2. 入院回数

1. 年齢  
10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代 90代以上

2. 性別  
男 女

3. 入院回数 ( ) 回目

4. ベッドの位置はどこですか? A B C D E F

5. 次の時にカーテンを閉めたいと思いますか? 当てはまるものを選んでください。(複数回答可)

1. 食事をするとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
2. 着替えるとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
3. 体を拭くとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
4. 部屋で排泄するとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
5. 除菌、処置を受けるとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
6. ベッドで安静にするとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
7. 昼間眠っているとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
8. 夜眠っているとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
9. 読み書きをしているとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
10. 面会の人と話をするとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
11. 医師や看護婦など、医療者と話をするとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
12. ドアが開いているとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う

6. カーテンについてお聞きします。  
①×いつも閉めておきたいと思いますか? はい いいえ

①'なぜカーテンを閉めますか? 当てはまるものを選んでください。(複数回答可)

1. 人に見られたくないから
2. うるさいから
3. まぶしいから
4. 話しかけられたくないから
5. 体調が悪いから
6. 1人になりたいから
7. 隣の人と距離をおきたいから
8. みんな閉めているから
9. その他 ( )

②日中カーテンを閉めていますか? はい いいえ

②'②で「はい」と答えた人にお聞きします。  
カーテンを閉めるとなぜ良いですか? 当てはまるものを選んでください。(複数回答可)

1. 落ち着く
2. 1人の空間が作れる
3. プライバシーが守れる
4. その他 ( )

②'②で「いいえ」と答えた人にお聞きします。  
カーテンを開けているとなぜ良いですか? 当てはまるものを選んでください。(複数回答可)

1. 明るい
2. 採光ができる
3. 広く感じる
4. 隣の人と話ができる
5. その他 ( )

③閉まっていたて除気くさいと思ったことがありますか? はい いいえ

7. 同じ部屋の人と話すことはありますか? 当てはまるものを選んでください。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. はとんどない

8. 看護婦からカーテンを開けるように言われたことがありますか? ある ない

8'8で「ある」と答えた人にお聞きします。  
そのとき嫌だと思いませんか?

1. 思った
2. 少し思った
3. あまり思わなかった
4. 思わなかった

9. 看護婦にカーテンを開けられたことがありますか? ある ない

9'9で「ある」と答えた人にお聞きします。  
そのとき嫌だと思いませんか?

1. 思った
2. 少し思った
3. あまり思わなかった
4. 思わなかった

10. カーテンはいつもどういう状態にしておきたいですか? 当てはまるものを選んでください。

1. 全部開ける
2. 横を2/3以上開ける
3. 横を1/3から2/3開ける
4. 横は閉めて、足元は開ける
5. 横も足元も1/3から2/3開ける
6. 横も足元も2/3以上開ける
7. 全部閉める

ご協力ありがとうございました。

図3 アンケート (患者)

1. あなたは次の場面で看護するとき、カーテンを開けていますか？当てはまるものを選んでください。

1. 食事をするとき	開けない	一部開ける	全部開ける
2. 着替えるとき	開けない	一部開ける	全部開ける
3. 体を拭くとき	開けない	一部開ける	全部開ける
4. 部屋で排泄するとき	開けない	一部開ける	全部開ける
5. 診察、処置を受けるとき	開けない	一部開ける	全部開ける
6. ベッドで安静にするとき	開けない	一部開ける	全部開ける
7. 昼間眠っているとき	開けない	一部開ける	全部開ける
8. 夜眠っているとき	開けない	一部開ける	全部開ける
9. 読み書きをしているとき	開けない	一部開ける	全部開ける
10. 面会の人と話をするとき	開けない	一部開ける	全部開ける
11. 医師や看護婦など、医療者と話をするとき	開けない	一部開ける	全部開ける
12. ドアが開いているとき	開けない	一部開ける	全部開ける

2. カーテンは普段開けておくものだと思いますか？ 思う 思わない

2'. 2で「思う」と答えた人にお聞きします。

なぜ開けたほうがいいと思いますか？(複数回答可)

1. 安全確認ができる
2. 明るい
3. 換気ができる
4. 広く感じる
5. 同室者とのコミュニケーションがとれる
6. その他

3. カーテンを開けるように働きかけたことがありますか？ ある ない

3'. 3で「ある」と答えた人にお聞きします。

そのとき患者は嫌だと思ったと思いますか？

1. 思う
2. 少し思う
3. あまり思わない
4. 思わない

3で「ない」と答えた人にお聞きします。(複数回答可)

なぜ、働きかけられないのですか？

1. プライバシーの保護のため
2. 静かに休める環境をつくるため
3. 本人が閉めて欲しいと望んでいるから
4. その他

4. なぜカーテンを開けていると思いますか？(複数回答可)

1. 人に見られたくないから
2. うるさいから
3. まぶしいから
4. 話しかけられたくないから
5. 1人になりたいから
6. 体調が悪いから
7. 寝の人と遮断したいから
8. みんな開けているから
9. その他

5. 次の時に患者はカーテンを開けたいと思いますか？当てはまるものを選んでください。

1. 食事をするとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
2. 着替えるとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
3. 体を拭くとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
4. 部屋で排泄するとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
5. 診察、処置を受けるとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
6. ベッドで安静にするとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
7. 昼間眠っているとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
8. 夜眠っているとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
9. 読み書きをしているとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
10 面会の人と話をするとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
11. 医師や看護婦など、医療者と話をするとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
12. ドアが開いているとき	思わない	あまり思わない	少し思う	思う

ご協力ありがとうございました

図4 アンケート (看護婦)

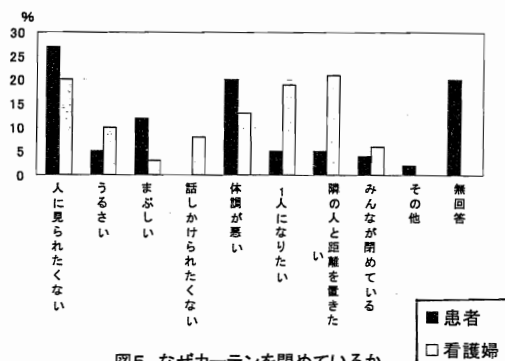


図5. なぜカーテンを開けているか

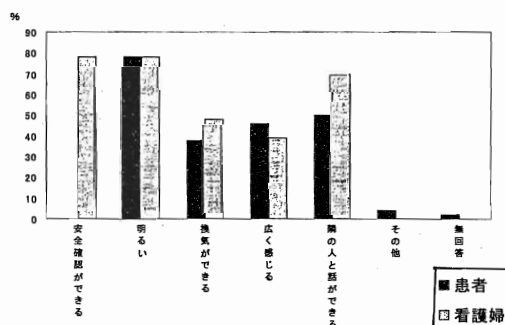


図6. カーテンを閉めているとなぜよいか

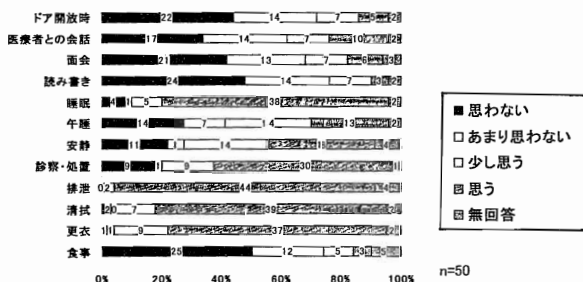


図7. カーテンを閉めたいと思うか(患者)

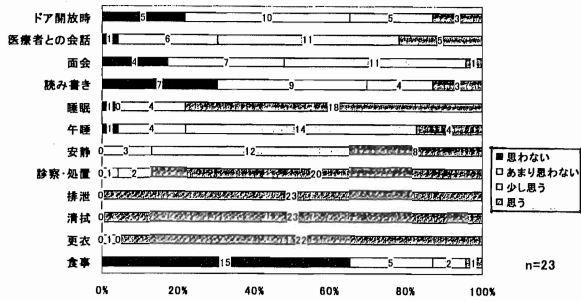


図8. カーテンを閉めたいと思うか(看護婦)

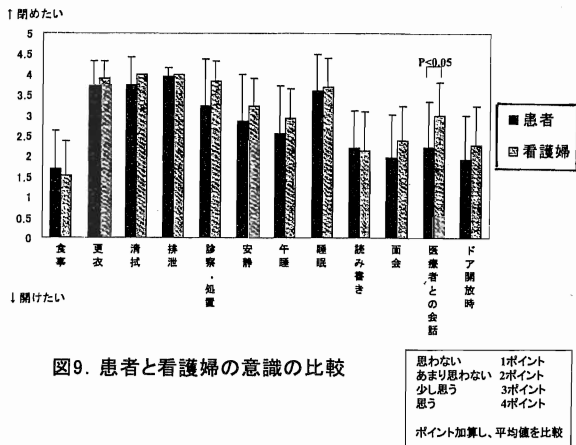


図9. 患者と看護婦の意識の比較

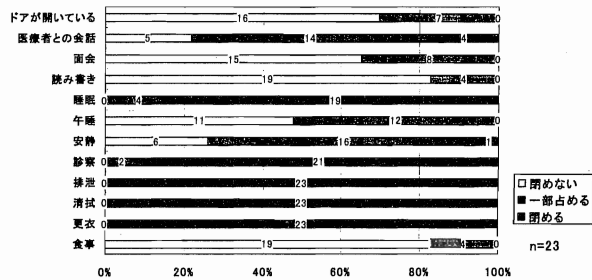


図10. カーテンを閉めているか(看護婦)

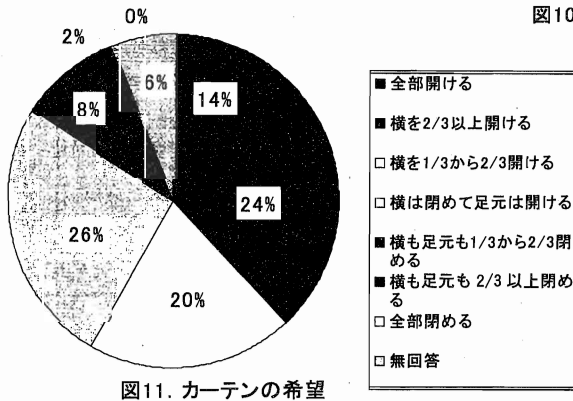


図11. カーテンの希望